



春日っ子通信

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹

聞くこと、話すこと

人は、もともとあまり人の話を聞くことが得意ではないという話を聞いたことがあります。

さて、1年生に入学した子供たちに指導することは、「人の話をよく聞く」ということです。例えば、相手の話が全て終わってから、一呼吸おいて話し始める。正確に相手の話の内容を把握するといったことです。学年の発達においては、話を聞いてメモをとる学習もあります。そのメモが話の大切なことを落とさずに書かれているのか、ということです。

聞くことにも段階があるようです。

「聞く」から、「聴く」そして、「訊く」という具合です。

- 「聞く」→ 人の話がなんとなく聞こえる、耳に入ってくるという状態
- 「聴く」→ 無心になって相手の話に積極的に耳を傾ける状態
- 「訊く」→ 積極的に話している人に対応していくこと、つまり、「尋ねる」という行為が出てくる状態

同じ「きく」でも、色々な「きく」があるようです。学習の中では、最終的には「訊く」を目指したいものです。

聞き方の指導とともに、当然、話し方の指導も必要です。

- 感じよく、自分の考えを表現する。
- わかりやすく表現する。
- 正しく表現する。

これらのことが、大切になります。

コミュニケーションを上手にとることは、人とのかかわりにおいても大切なことです。学校、家庭、地域等で、「話す・聞く」力を付けていきたいものです。



たくさんの体験をしました！5年生 自然教室

2日目の雨を心配しましたが、野外での活動も行うことができました。

うまくいかないことも色々ありました。その都度、子供たちは考えて行動することができました。きっと、子供たちは一回りも二回りも成長することができた、と思っています。

ご協力頂いた保護者の皆様、宿泊までして支援して頂いたおやじの会の皆様、ありがとうございました。星が見られなかったことが、ちよっぴり残念でした。

